

あまサポねっとアンケート「尼崎市長選挙投票参加状況調査について」の集計結果

I 調査の概要

1 調査の目的

平成26年11月16日執行の尼崎市長選挙における有権者の投票行動等の実態を調査し、今後の選挙啓発上の資料とする。

2 調査対象

あまサポねっと登録者及び一般市民等

3 調査期間

平成26年12月1日（月）～12月12日（金）

4 回答人数

80人

5 担当課

選挙管理委員会事務局

II 調査結果

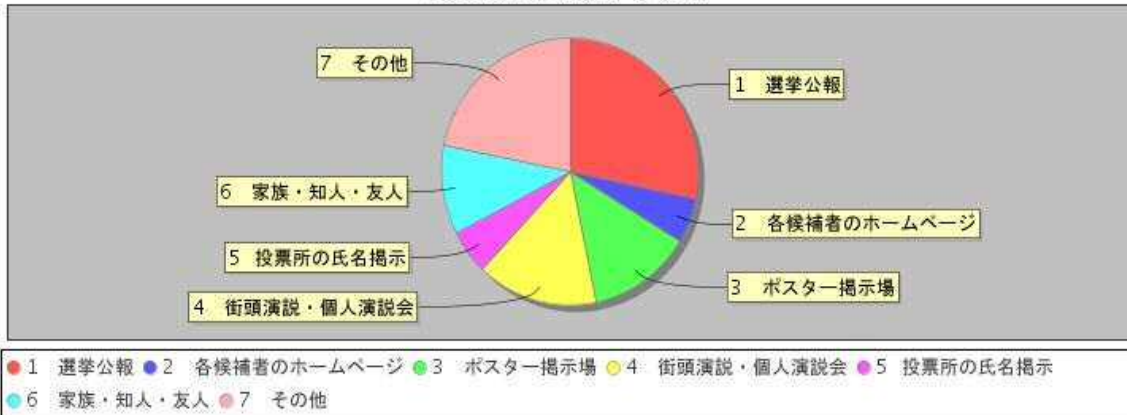
問1 尼崎市長選挙に行きましたか



選択肢内容

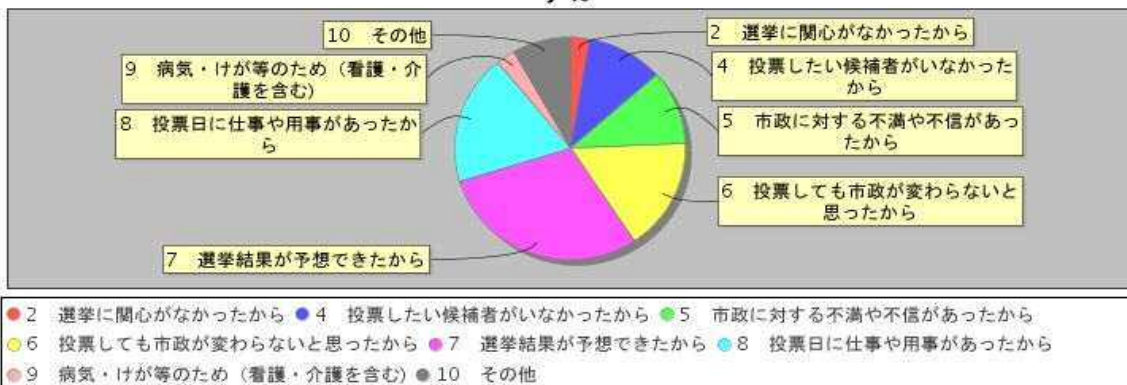
選択肢内容	回答数	回答率
1 投票日当日に投票した	41件	51%
2 期日前投票不在者投票で投票した	19件	24%
3 行かなかった	20件	25%

問2 「問1で投票した」と答えた方にお聞きします。投票する際に参考としたものは何ですか



選択肢内容	回答数	回答率
1 選挙公報	26件	28%
2 各候補者のホームページ	5件	5%
3 ポスター掲示場	12件	13%
4 街頭演説・個人演説会	14件	16%
5 投票所の氏名掲示	5件	5%
6 家族・知人・友人	10件	11%
7 その他	20件	22%

問3 「問1で行かなかった」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか



選択肢内容	回答数	回答率
1 選挙があることを知らなかったから	0 件	0%
2 選挙に関心がなかったから	1 件	3%
3 どの候補者に投票したらいいかわからなかったから	0 件	0%
4 投票したい候補者がいなかったから	4 件	11%
5 市政に対する不満や不信があったから	4 件	11%
6 投票しても市政が変わらないと思ったから	6 件	16%
7 選挙結果が予想できたから	11 件	29%
8 投票日に仕事や用事があったから	7 件	19%
9 病気・けが等のため（看護・介護を含む）	1 件	3%
10 その他	3 件	8%

問4 現在、特に若年層を中心として投票率が低下しているといわれていますが、その原因は何だとお考えですか



選択肢内容	回答数	回答率
1 投票したい候補者や政党がない	45 件	18%
2 候補者や政策がよくわからない	39 件	15%
3 学校等で政治や選挙について勉強する機会がない	29 件	11%
4 自分1人が投票しなくても同じだと思っている	49 件	20%
5 選挙で政治や暮らしが良くなるとは思っていない	54 件	22%
6 投票が面倒くさいと思っている	33 件	13%
7 その他	2 件	1%

問5 市長選挙で実施した選挙啓発のうち有効だったものは何だと思えますか



選択肢内容	回答数	回答率
1 投票所整理券	26 件	18%
2 選挙公報	24 件	17%
3 市報あまがさき	22 件	15%
4 市のホームページ	4 件	3%
5 ポスター掲示場	19 件	13%
6 家族・知人・友人から聞いて	15 件	10%
7 街頭啓発	13 件	9%
8 のぼり・懸垂幕	8 件	6%
9 その他	13 件	9%

問 6 投票率を上昇させるためにはどのようにすればよいかご自由にお書きください

- ・ 選挙の日付を何日から何日までというふうにポスターにてお知らせする。期日前投票を知らない方が多いので。日曜日に動きにくいのではないか、社長や上司の言う事は聞くだろうから、会社単位で投票用紙を配り集める。
- ・ 若い人の投票率が下がっているとのこと。大学や職場（50人以上の規模か）でも投票できるようにしたらどうでしょうか。自宅でできるネット投票も検討してはどうでしょうか。
- ・ どこでも投票できるようにする。（最寄り駅など）インターネット投票。（若い人に）著名なタレントにPRしてもらう。
- ・ 投票に行くと市内で使える商品券をもらえる等特典をつける。
- ・ 政策の違い、どのように生活が変わるのか、具体的に伝える。その際デジタルツールの積極利用。

- ・ 独身世代の関心が特にないように感じました。せっかくの選挙活動も勤務先から帰ってくる時には終わっており、選挙がいつだか誰が出ているのかさえよく分からないと言っていた知人もいたほどです。決まった投票所だけでなく、駅やショッピングセンターにも投票場所があればいいのかなとも思います。
- ・ 市内 何処の場所からでも 投票可能にすれば良い。
- ・ 候補者が誰か分からず、広報も遅く、選挙カーもあまり来ず、選挙という感じすらしなかった。市のホームページもまず見ないし、候補者、政策など、幅広く知らせるべきですし、尼崎の現状を（財政、治安、人口流出、学力、保護世帯数等）をグラフや数値化し、問題提起しないと、市民に危機感もない。ただでさえ「尼崎」というだけでイメージが悪いので、市のいいところ、問題点など整理し、政策を比較できるような方法は必要ではないでしょうか。
- ・ 政策を目標、内容説明だけでなく、実現できる過程と障害、その対策が実現出来るという真実味が欲しい。似たり寄ったりじゃ変化なんてない。市民をバカにしている。生活保護を全員見直し、更新性にするとか画期的な事をして欲しい。
- ・ 投票に行かないと税金が高くなるや投票に行くと税金が安くなるなど、投票に行くと損得が実感できるものがないと今の人は投票に行かないのでは…
- ・ 大阪のような論点が無い。市政のまっとうな広報が常日頃無い。よって、月例市政報告の発行と配送を望む。（市役所発行）
- ・ もっと便利な場所（コンビニ）などで投票ができればもっとよくなると思います。
- ・ 投票するメリットが、確信できる手段を考え実施する。例えば、グッズやサービス券、図書券、等できれば、減税対応がベター。
- ・ 市内の駅構内や公共施設（学校含む）の壁、公共交通機関の車内等にこれでもかというくらいポスターを掲示して選挙があること自体広める必要があると思います。毎回選挙に行く人で、今回の選挙の存在を知らなかったという人がいました。
- ・ 投票所の立会人を地区関係者以外の人に変えることと、特定者に固定しないことが必要。顔見知りの方が立会人だと挨拶の面倒さが嫌で足が遠のく。
- ・ 駅やコンビニなど会社帰りや何かのついでで投票できるような環境づくり
- ・ 市長選だけではなく、選挙で投票したい人、政党がないのがいちばんだと思います。今後も投票率は上がるとは思えません。
- ・ ネット（スマホでの）投票。若者が投票しない＝投票率が高い高齢者向けの政策が多くなることを若者に知ってもらおう。（高校卒業式、成人式など）投票用紙にメッセージ欄を設ける
- ・ 期間が短いのと、期日前投票の投票所が少ない、期日前投票の投票可能時刻を 24 時間できないか、（私は夜勤明けで投票可能でしたが）一日中勤務している人は、期日前投票すらいけない。市外県外の勤務の人に、勤務地での投票可能にしてほしいです。
- ・ 現市長が良い政治を行うこと

- ・ 投票したら、何かお得になるもの、とかあったりするとかあればいいかも。(地元の買い物割引券等)また、ネット投票も便利でいいと思います。
- ・ 以前、どこかの市ではお米を配ったり、独自で地域で使える買い物券を発行したりしてましたが、予算などの関係もありますでしょうか。
- ・ 国政選挙も含めて、ある程度まとめて同時に投票するようにすれば多少はましになるのではないのでしょうか。税金の節約にもなると思います。
- ・ PR不足！スーパーやコンビニなど、生活に密接に関連のあるところにポスターなどすべき。政策がわからない、その後の結果もわからない。
- ・ インターネットの活用
- ・ 演説会の回数を増やすことや、同時にイベントを実施する等、目立った取り組みも必要ではないか。あまりに、投票率が低過ぎる。
- ・ インセンティブを与える工夫をする。
- ・ 公約で実現して欲しいものに投票、多かった意見を優先的に確実に実現させる
- ・ 今までにしていないこと、期日前投票の時間帯拡張（7時半から22時）、場所を増やす（主要駅構内や隣接建物）など、しっかりと取り組んでほしい。
- ・ はっきり言ってこうすれば投票率が上昇するという方法はないと思います。あれば皆さん苦労しないでしょう。取り敢えずPRが一番でしょう、ただしその方法が重要です。
- ・ 投票所に行かなくても投票できるようにする。もしくは駅等のなにかのついでに寄れるような場所に投票所を設置する。
- ・ 選挙権が得られてから今回で二回目の破棄となりました。一回目は選挙結果が予想でき不満で破棄。今回は一人暮らしになり雑用に追われ投票日を忘れてしまいました。投票率の向上は各人の自覚の問題でしょう。私は、先輩や同僚から「世の中に文句があるなら国民としての義務である選挙投票には必ず行け」といわれました。子供の時から選挙投票は国民の義務と教えることだと思います。
- ・ 今回の選挙は前任市長が当選するのは選挙前から既に決まっていた、対抗者は出馬して選挙費用を無駄遣いさせたに過ぎない。現市長よりも実力のある多数の候補者が出馬しないのが残念である。これでは尼崎市の市政は市議会議員の資質を見ても市の将来に失望した。
- ・ インターネットで候補者の自己紹介や演説の映像を流す。
- ・ 法律を変えて投票に行った人に粗品を渡すようにする。
- ・ 公約を守る事。無駄遣いを減らした上で市民に呼び掛けること
- ・ 魅力ある候補者が多く出る。候補者が課題と解決策を提示する。それに対して評価が欲しいですね。尼崎はいつも、公明と共産。国政も魅力ない。市長選も市民派对共産。魅力も無い。自民が出なければ、尼崎の未来はない。
- ・ 無理しなくていいと思う。その労力を他に使って！
- ・ 期日前投票の場所をもう少し増やして欲しい。

- ・ 選挙に対してあまり案内がなく、掲示板に顔写真があったなって感じでした。政策はわかりにくく、なんとなくで投票しました。政策がわかりやすく書かれたポスターや新聞が投函されればと思います。
- ・ 各家庭での子供への強い働きかけがあれば行く
- ・ 期初の計画と期末の実績（進捗状況）を分かりやすく、冊子にしてください。結局市民のために何をしようとして、何をしてくれたのかが見えないのです。目指します！は、うちの子でも言えます。何を目指し、ゴールまで何合目で、あとどれくらいかかる（時間+お金）のか、明確にならないから興味を持ってないのです。
- ・ 立候補者が少なすぎるのと創価学会の組織票があるので、一目候補者を見ただけで当選者がわかります。憲法にある、政教分離を徹底したらと思います。
- ・ 投票したい候補者が少ないのが投票率の低下につながっていると思います。また、学校で近代社会はおまけ程度で、今の日本の社会の仕組み、情勢を教えていない。歴史も大事だとは思いますが、自分の住んでいる地域のこと、日本の政治や経済などを教えることが大事だと思います。尼崎の環境や、教育、産業の取り組みを知らない市民が多すぎる。自分の住んでいる街、国を理解出来るような教育が1番必要なのではないかと思います。
- ・ 若年層に対して→携帯端末での候補者のプロフィール、政策の閲覧が出来るようにする。（個人別のホームページだと閲覧が大変、見ない。）QA方式で同じ内容を候補者に回答いただく。高齢者に対して→投票所で休憩所を一室用意する。ご近所方がこの時は顔を合わせることが出来るので、楽しみの一つになるのでは…将来的な理想としては、その場で若者と高齢者が政治について語り合い勉強しあえるような環境になれば素晴らしいなど。
- ・ 選挙にきた人には500円相当のクオカードか粗品を渡すとか。
- ・ 教育。子どもの時から選挙・投票が大切であることを学ぶ機会を設けること。問5の答えを「その他」にしましたが、それは有効なものがなかったと思うので。のぼりやポスターで有効とは思えない。
- ・ もしも叶うなら、お忙しいなかですが、市長候補者と出会える機会をふやしていただきたいです。大人だけでなく子供達も
- ・ 選挙公約した結果がわかりにくい！どうなった？生活は良くなる？結果をもっとPRしてください。特にスマホを活用してください。
- ・ 今回の投票率を見ると問5に「なし」という設問が必要では？
- ・ 今回は、市の選挙カーが廻っていなかったように思うのですが、なぜなのでしょう？
- ・ 中学校や高校などで模擬投票などに取り組んでいる地域があると聞きます。若い世代の意見を如何に掬い取るかが大切だと思いますので、教育現場に投票の仕組み、選挙の必要性、その歴史的背景も踏まえて意義をきちんと正しく伝えていくことが大切だと思います。
- ・ 期日前投票についてPR（理由を問わないことや投票所整理券が無くても投票できること）を徹底することと公民館等に投票場所を増やすこと。学校や家庭で選挙権について話をすること（香港の学生運動のニュースを見て話題にしないのでしょうか）